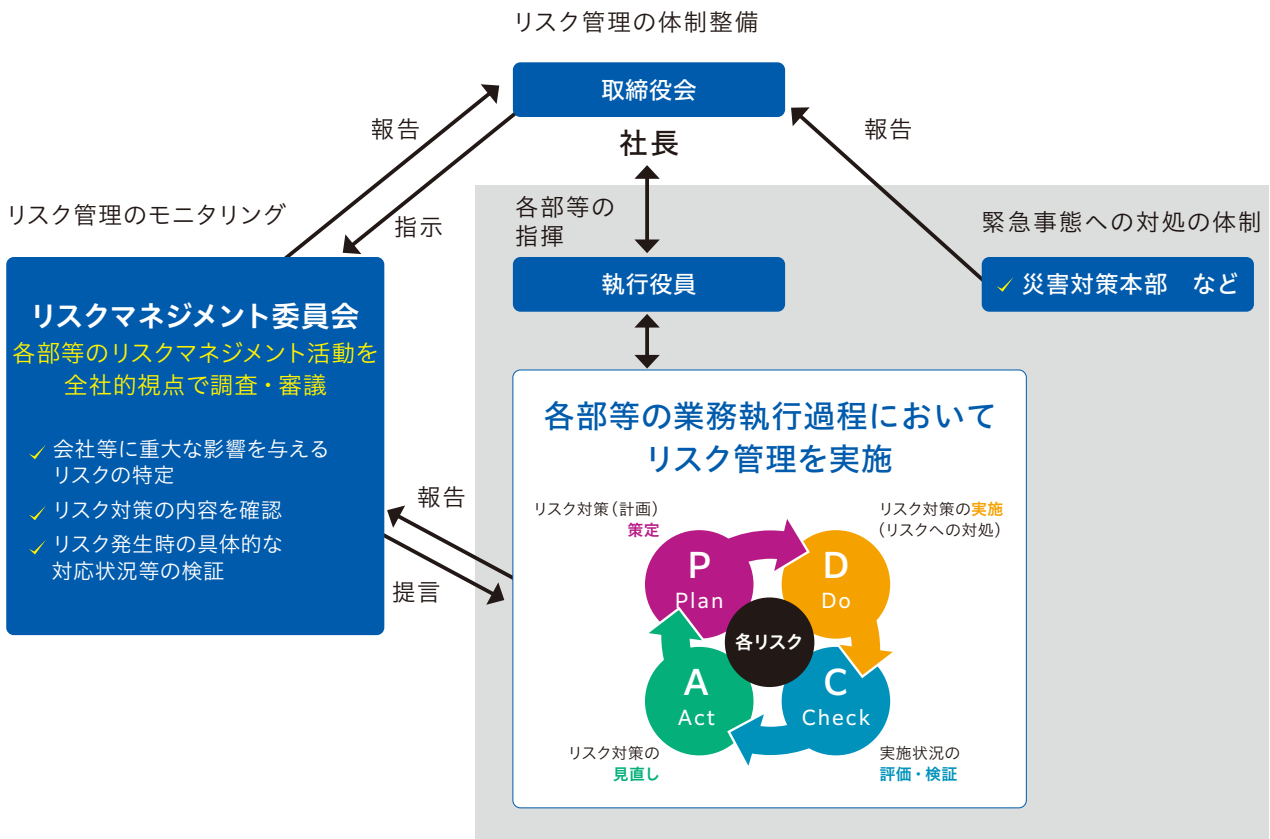


# リスクマネジメントの推進

阪神高速道路(株)では、事業執行上のさまざまなリスクを把握・認識し、各担当部門において頻度や重要度に応じた対策を講じることで、経営への影響を最小限に抑制する仕組みを構築しています。また、社長を筆頭とした「リスクマネジメント委員会」において、経営上の重要なリスクの特定およびその対策などについて調査および審議することにより、阪神高速グループを取り巻くリスクを組織横断的に統括するリスクマネジメントを徹底しています。



# 情報セキュリティの強化

阪神高速道路(株)では、安全かつ安定的で、お客さまおよび関係者から常に信頼していただける組織を目指し、業務上保有する情報資産の適正な取り扱いと情報セキュリティのより一層の強化に取り組んでいます。具体的には、情報資産の重要度に応じた安全対策の実施、標的型攻撃メール訓練などの社員教育の継続的な実施およびサイバー攻撃や情報漏洩への技術的な対策など、さまざまなリスクに対応すべく、物理的、人的および技術的なセキュリティ対策を重層的に講じています。

また、働き方改革およびデジタル化の進展に対応すべく、社内規則などの運用ルールの整備・改善や最新のICTソリューションを活用した安全対策も進め、阪神高速グループ全体としての情報セキュリティのさらなる強化に取り組んでいます。

トップメッセージ  
阪神高速グループの全体像  
中期経営計画  
阪神高速グループのサステナビリティ  
マテリアリティ1  
マテリアリティ2  
マテリアリティ3  
マテリアリティ4  
ガバナンス報告  
企業情報